

看護部に異動になって

看護部業務担当参事 岩城 美幸

【業務担当として】

平成16年4月に、5階西病棟から異動になった。病棟在籍中は、入院患者さんとスタッフのことを中心に考えれば良かったが、看護部に入ると看護部全体で物事を見なければならず、頭の切り替えが必要だった。業務内容は総務的なこと・業務改善について・業者との交渉など色々あるが、その中でも医療安全は、各部署から提出されたインシデントレポート等の分析・予防策の立案と提案や、報告された情報のデータ管理が必要で、正直に言って精神的にかなり負担だった。

H15年度の報告書の結果から、H16年度看護部での医療安全対策の取り組みとして、

1. 針は安全機能のついた製品に変更する
2. ポンプ用セットはロック付きに変更する
3. 離床センサーマットを購入し、転倒・転落アセスメントスコアシートで転倒リスクの高い患者さんに使用する
4. 輸液・シリンジポンプチェックリストを作成しポンプ類に関連した事故を減らす
5. 抑制フローチャートの使用

ことを目標とした。針に関して、サーフロー針は変更できたが、翼状針は価格のこともあり変更できなかった。引き続き必要性を理解してもらう努力をしていく。離床センサーマットは3台購入したが、まだまだ数が不足しているため徐々に数を増やしていく。ポンプ類のチェックリストは作成できたので、今後は確実に使用できるよう実施状況を確認していく。抑制フローチャートは使いつらいため、再度検討を要するので次年度への課題とする。他にも問題は数多くあり、これから一つ一つ地道に解決していこうと思っている。

【リスクマネージャーとして】

H17年4月から看護部を離れて、事務部医療安全管理室に籍を置き、病院全体のリスクマネージャーとして業務をすることになった。看護部だけでも大変なのに、専任となったら他部門にも意見を言わなければならない。私の意見は聞いてもらえるのだろうか、どのように言えばいいのだろうかなど不安が強い。他部門の職員が、リスクマネージャーに対してどのように思っているのか、まず院内の理解を得ることから始めなければならないと思っている。

リスクマネージャーの業務として、①レポートの収集・分析 ②各事例の原因分析と改善策の立案と提示 ③レポートの提出や情報収集が適切に実施されるための環境作り ④レポートの記載方法・内容などの指導 ⑤医療安全に関する研修・教育 ⑥医療安全に関する情報収集と提供 ⑦院内巡回など多岐に渡っている。インシデントレポートについても、部署によって提出枚数が違っている。病床数の3～4倍の報告が当たり前と言われているので、報告が少ない部署には働きかけを行い、レポート提出に関して職員の意識を高めることが必要だと感じている。そのためには、報告しやすい環境も必要なので、ぜひペーパーレスでの報告制度を導入できればと願っている。

4月からの医療安全管理室は、

1. 患者さんが安心して医療・看護を受けられる
2. 安全な医療・看護を提供できる環境づくりの推進
3. 医療安全に関わる情報を職員に提供することを目標として活動したいと考えている。質の高い医療・看護を行うために私たち医療従事者が大切にしなければいけないものは、

- ①医療従事者の1人1人の心がけ
- ②患者さんに対する思いやり
- ③チーム内でのコミュニケーション
- ④職員同士の密接なチームワーク

だと思っている。リスクマネージャーとしてできることは何なのかを考えて行動したい。